

富士の四季を撮る

開催概要

第2回「旅の図書館講座」は、当財団機関誌『観光文化』に「風致探訪」をご寄稿いただいている樋口健二氏をお招きし、「富士の四季を撮る」をテーマにお話しいただいた。樋口氏はフォトジャーナリストとして日本の高度経済成長の影の部分である公害や原発問題を直視してきただけに、美しい自然・景観や歴史的街並みの素晴らしさや尊さを人一倍希求され、その思いを熱く訴えられた。写真技術よりむしろ風景と向き合う心情を吐露され、旅の感動を映像に残す写真の大切さを強調。文化遺産として富士山を世界遺産に登録する動きが活気づいているが、日本人にとって霊峰富士は信仰の山であり、心のふるさとであると語る。樋口氏が撮影された数多くの気高い富士の姿をご覧いただいた。

■ 担当者 外川宇八・渡邊サト江

■ 場 所 旅の図書館内

■ 日 時 07年2月3日

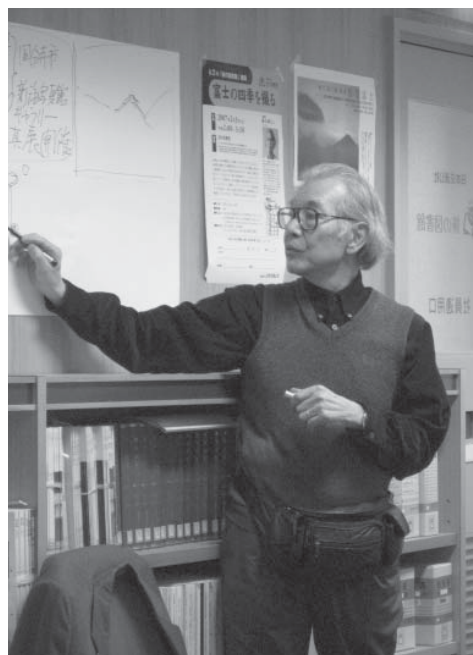
■ 主 催 (財)日本交通公社

プログラム

14:00～15:30

富士の四季を撮る

講師：フォトジャーナリスト 樋口健二氏



参加者数 26人